

橋点検ロボット開発

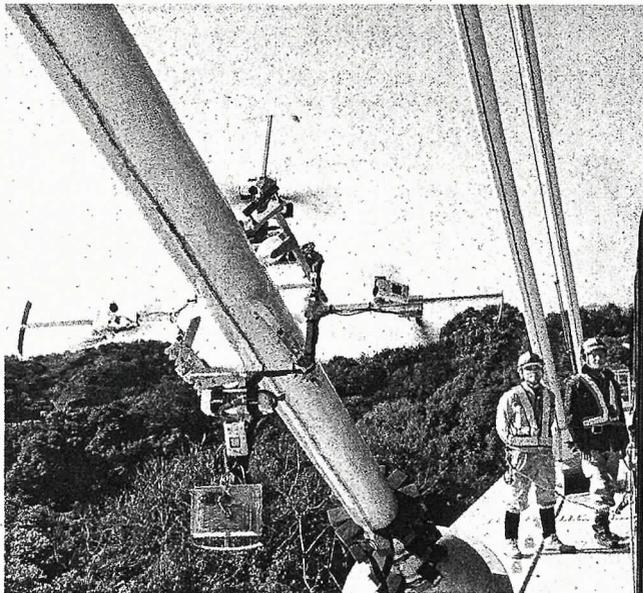
長大など安全、時間を大幅短縮

長崎大と建設コンサルタ

開された。

ント会社などが橋のケーブルの点検ロボット「ヴェスピナエ」を開発し、ロボットを使って点検が行われて

いる長崎市の女神大橋で19日、報道関係者に作業が公



橋のケーブルを点検できるロボット「ヴェスピナエ」

を記録。作業員は地上のモニターに配信された映像を見て、ケーブルの状況を解析できる。

建設コンサルタント会社「長大」(東京)の呼びかけに応じ、長崎大などが約1年かけて開発。国土交通省は5年に1回、橋を近くから目視で点検するよう義務づけているが、高所作業車では高さ30メートルまでしか届かず、それより高い場所には作業員が主塔からロープで下りて点検するしかなかった。

同社の担当者は「ロボットの開発によって、数か月かかっていた点検を1〜2週間程度に短縮できる。さらに改善し、橋の安全確保や長寿命化に貢献したい」としている。

事件事故

▼長崎で住宅全焼 18日午後5時20分頃、長崎市立岩町、片山義和さん(81)方から出火、木